

豊岡市記者配布資料

年月日	部 課 名	電 話	責 任 者 (役 職 名)
2023年 8月31日(木)	コウノトリ共生部 環境経済課	0796-23-4480 (内線 2301)	富岡 隆 (課長)

(件 名)

豊岡市環境経済事業の認定

(内 容)

「環境と経済が共鳴するまち」を推進するため、新たに豊岡市環境経済事業として2事業を認定しました。

1 認定日

8月7日(月)

2 認定事業

- (1) 自然砕石のみを使用する環境に配慮した地盤改良工事
- (2) コウノトリ育むお米と規格外の地域食材をふんだんに使った自家製スイーツの製造販売

3 事業内容

別紙の資料を参照してください。

《 問 合 せ 》

コウノトリ共生部環境経済課
経済政策係(担当 中田)
TEL 0796-23-4480(内線 2319)

環境経済事業の認定

～「環境と経済が共鳴するまち」を推進するため、新たに2事業を認定～

豊岡市では、「環境と経済が共鳴するまち」（環境と経済が互いを刺激しながら発展する仕組み）を推進するため、環境経済事業（環境を良くする事業活動で利益が生まれるもの）の認定を行っている。

2023年8月7日に新たに認定した2事業および直近の認定状況をお知らせする。

新たな認定事業

1 自然砕石のみを使用する環境に配慮した地盤改良工事（認定番号 90）

(1) 事業所

株式会社 西山工務店

（豊岡市泉町／建設業）TEL0796-21-9103



(2) 事業内容



◀ 砕石による地盤改良イメージ。掘削部に砕石を投入し、圧力をかけて締め固める。

ア 主に住宅の地盤改良において、自然の砕石のみを使用する「エコジオ工法」を、2011年から行っている。

イ エコジオ工法を採用することで、セメントや鋼管を地中に打ち込む従来の地盤改良と同等の補強を可能としながら、次のとおり環境負荷を軽減する。

- ・ 人工物を使用しないため、材料の製造段階のCO₂排出量をセメントの約1%、鋼管の約0.3%に抑制できる。
- ・ 施工時に生じる廃棄物は残土のみであり、騒音・振動も少ない。
- ・ 施工後、土壌汚染と地中埋没物が発生しない。

ウ エコジオ工法では、掘削時に周囲の地盤を圧縮するため、一般的な一軒家の地盤改良で約8～11 m³程度の残土が排出されるが、更に改良された「エコジオ ZERO 工法」では、残土がほとんど排出されない。認定事業者ではエコジオ ZERO 工法を追加導入後、地盤改良工事の90%以上で適合し、廃棄物を大幅に削減している。残土の撤去・処分費用がかからない分、全体工事価格を低減でき、他工法との比較でも優位になりやすい。

エ 環境面を重視し、様々な工法の中から当工法を採用している。まだ認知度は低いものの、環境面のメリットについて施主の理解を深めながら普及をはかる。

(3) 認定のポイント

CO₂ の排出抑制や廃棄物の削減など、環境に配慮した先進的な工法を採用し、顧客の環境への意識向上にも取り組んでいる。

2 コウノトリ育むお米と規格外の地域食材をふんだんに使った自家製スイーツの製造販売（認定番号 91）

(1) 事業所

Alter Ego MATIC（オルターエゴ マチック）
（豊岡市中央町／飲食サービス業）TEL0796-20-8193



(2) 事業内容



◀ 左) コウノトリ育む農法の米麴と米粉を使用した「自家製パンケーキ」。
右) 規格外のいちごを活用した「豊岡産いちご いちごフラッペ」。

ア 2022年に開店したカフェで、コウノトリ育む農法で栽培されたお米の米麴や米粉を使用した、甘麴ドリンクやパンケーキなど自家製スイーツを提供している。

イ 市内の農家から仕入れるいちごは、規格外品も含めて一括で購入し、パフェやフラッペ、かき氷シロップなど多様なメニューに有効活用することで廃棄ロスを削減している。

ウ カバンストリートを訪れる豊岡周辺観光客など、利用者に食を通して地域の風土、魅力を感じていただく。

(3) 認定のポイント

コウノトリ育む農法の米麴・米粉や地元の規格外農産物を種類豊富なメニューへ活用し、環境保全に取り組みながら食を通じた地域の魅力増進を図っている。

環境経済事業の認定状況

認定数 81 事業（78 事業者）（2023 年 8 月 31 日現在）



◀ 市ホームページ
環境経済事業
紹介ページ

〔問合せ〕 コウノトリ共生部環境経済課経済政策係（担当 中田）
TEL0796-23-4480（内線 2319）